



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.5.11 No. 3790

崩壊する「分割・民営化」体制—JR体制打倒!、反合・運転保安確立!、解雇撤回闘争の真価を持って

93夏季物販へいっ!

いよいよ九三夏季物販がスタートする。二倍化方針以降四回目にあたる今夏は、控訴審闘争に入っている一波・二波、清算事業団闘争—解雇撤回闘争の真価と、今春闘をストライキで闘い抜いた源泉である、反合・運転保安確立、崩壊する「分割・民営化」—JR体制打倒への大いなる展望を持つてのぞむ、決定的位置を占めるものです。本稿では、日頃協販部で奮闘している、岩井昇一・後藤俊哉両君を迎え、全国物販オルグへ向けた抱負—組合員の方が実際にオルグに行くにあたっての目安などを語ってもらいました。

裾野が広がる物販闘争!

—二倍化方針以降も、「不況知らず」の動労千葉物販として、着実な推移をしていることは、運動自体の進展とともに、現場組合員が参加し、それを包んでくれる支援の方々の大きな輪—裾野の広がりが爽々となつていっていると思います。お二人が全国オルグへ行く場合の、心がまえとはどのような感じでしょうか—
(岩井) 初めて行き合う方が多いわけですから、素直な気持ちで入っていくように私はしています。支部の組合員の方の場合は、動労千葉の組合員だから何でも知っていないければならないというイメージ

ではなくて、こういう純朴な人がやっていると組合なんだという感じが伝わることで、大きな力になっていくわけですよ。要するに自然体で出ていくという感じですかね。
(後藤) 私としては一方通行にならないように、動労千葉はこういうことをやっていまして、今ですと「分割・民営化」それ自体が完全に崩壊していることを、政府自らが自認するに至っている。その意味で言っても、一波・二波ストと清算事業団闘争の意義がより打ち出せし、受け入れられる度合いが深まっていると思います。

現場の生の声を訴えよう!

—では、実際に現場の組合員の方が、オルグに行くにあたってどのような内容で話しをしてきたらいいのか、全国オルグの経験からの指標となるようなことを示していただきたいと思います—
(岩井) 「分割・民営化」当時と現在の状況の変化などを、オルグに行く人を決める時にも、雑談形式のようにやって、現場での成果などを折り返していき—JR発足当時と今と、運動を続けてきたことによつて、どう変わってきているのか、又は実際現場でどういうことが行なわれているのか、現場の生の声を訴えて

4月27日物販担当者会議 93夏季物販の成功へ向けて、全支部の意思統一を図る!

全支部から担当者が集まり、夏季物販への体制が確立された。蓄えられた鋭気を全国オルグへ!



解雇撤回闘争の真価輝くとき!

くる場にしてもらいたいですね。その点協販部からの提起にしたいと思います。
(後藤) いいね、いいね。運転は運転での安全無視の実態。検修は検査省略がもたらしている保守部門からの問題点。強制配転者は、「塩づけ」の実態と一方での差別・選別登用を訴えてくる。そして貨物からは、「分割・民営化」の矛盾がどういう形で実際に出ていますか?ということがよく聞かれますしね。
—今春闘の特徴的なものとし

て、「雇用調整」などの指名解雇攻撃が次々と出され、「連合」傘下の労働組合を直撃しています。ここに「分割・民営化」体制粉砕—解雇撤回闘争の真価を持って打つてやることの意義は、日本労働運動の再生を担いうる端緒となるものです。組合員一人一人の全国オルグでの一歩一歩が、ひとつひとつの成果を結びつける。裾野をさらにおし広げて、九三夏季物販の成功へ向けて、全組合員は打つて出よう!